

世代間交流 ～地域のお年寄りとだんごづくり～

平野保育所

1. 目的と経緯

- ・今回で3回目となる、だんごばらづくりは、日本の、また地域の文化伝承を後世に伝えていくことはもちろん、地域のお年寄りとのふれあいにより、尊敬の念を持つようになっています。

2. 内容

- ・地域の長寿会の方々に来園いただき、「どんどやき」の由来を聞き、色紙をきれいに切る様子を見たり、米の粉をこねてもらってまるくしたり、交流を深めました。
飾り用の大きな枝と、三つ又の枝も、園児全員のものを用意してくださり、保護者からも感謝の言葉が聞かれました。
紅、白、緑、それにみかんを加えた四色の花を咲かせただんごばらを眺め、歓声をあげる子どもたちの姿が見られ、長寿会の方々も嬉しい様子でした。
三つ又の枝にもだんごをつけ、夕方、保護者とともに、地域のどんど焼きに参加し、「焼いて食べると風邪をひかないよ。」「健康に一年過ごせるんだよ。」とお年寄りから教えてもらったお話を保護者に伝える姿が見られました。

3. 成果と課題

- ・これまでも年に3回ほど、長寿会の方との交流の場を設けていますが、子どもたちはいつも期待をもち、当日には楽しむことができます。感謝祭を設け、観劇を楽しみ、その後のふれあい体操やわらべうたあそびも、文化伝承を兼ねて、楽しむ時間としています。

